



## 2023年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社  
コード番号 1994 URL <https://www.t-cw.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 武治

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理部長 (氏名) 市川 尚

TEL 03-3271-1711

定時株主総会開催予定日 2024年3月28日 配当支払開始予定日

2024年3月29日

有価証券報告書提出予定日 2024年3月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期の連結業績(2023年1月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	7,332	2.6	355	109.1	448	80.7	302	99.2
2022年12月期	7,530	38.4	170	91.4	248	88.2	151	89.2

(注) 包括利益 2023年12月期 317百万円 (111.9%) 2022年12月期 150百万円 (89.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年12月期	35.96		2.8	3.6	4.9
2022年12月期	17.70		1.4	1.9	2.3

(参考) 持分法投資損益 2023年12月期 百万円 2022年12月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	12,709	10,701	84.2	1,293.18
2022年12月期	12,324	10,671	86.6	1,252.55

(参考) 自己資本 2023年12月期 10,701百万円 2022年12月期 10,671百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年12月期	1,518	285	58	2,645
2022年12月期	873	373	396	1,470

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年12月期		10.00		10.00	20.00	170	113.0	1.6
2023年12月期		10.00		10.00	20.00	166	55.6	1.6
2024年12月期(予想)		10.00		10.00	20.00		41.4	

### 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,500	19.3	230	2.7	260	9.1	170	0.9	20.54
通期	9,300	26.8	550	54.6	610	35.9	400	32.5	48.34

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期	9,553,011 株	2022年12月期	9,553,011 株
期末自己株式数	2023年12月期	1,277,864 株	2022年12月期	1,032,964 株
期中平均株式数	2023年12月期	8,398,108 株	2022年12月期	8,568,079 株

(参考)個別業績の概要

2023年12月期の個別業績(2023年1月1日～2023年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	7,269	2.6	355	109.4	447	93.3	301	99.6
2022年12月期	7,464	38.6	169	91.4	231	89.0	150	89.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期	35.88	
2022年12月期	17.62	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2023年12月期	12,637		10,703		84.7		1,293.39	
2022年12月期	12,249		10,674		87.1		1,252.84	

(参考) 自己資本 2023年12月期 10,703百万円 2022年12月期 10,674百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページの「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付け変更に伴う社会経済活動の正常化やインバウンド需要の回復等により、一部業種においては緩やかな景気回復の動きが見られたものの、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う資源・エネルギー価格の高騰や、円安による物価上昇等の影響が続いており、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような状況の下、当建設業界におきましては、ゼネコンは受注時採算の低いところに資材高、人手不足によるコストアップが重なり、収益が低下傾向にあります。PCカーテンウォール業界においても、受注時採算の悪化と原材料費の上昇の影響があり、さらに、工場の稼働率はアップダウンが激しくなっており、安定運営が難しくなっています。そうした中、当社はオペレーションの効率化や精算時の交渉を丁寧にして、収益の改善に努めています。

プールを手掛けるアクア事業では、引き続き主力である学校やスポーツクラブに加え、老朽化したプール施設のリニューアル工事等の拡大を図っております。インバウンド復活でホテルのプールが増加傾向にあること、大きなシェアを持っていたFRPプールメーカーが撤退したことから、受注/売上が増えてきています。

この結果、当連結会計年度における当社企業グループの業績は売上高73億32百万円(前連結会計年度比2.6%減)、営業利益3億55百万円(前連結会計年度比109.1%増)、経常利益4億48百万円(前連結会計年度比80.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3億2百万円(前連結会計年度比99.2%増)となりました。なお、受注高は80億60百万円(前連結会計年度比9.4%増)、受注残高は89億64百万円(前連結会計年度比8.8%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①PCカーテンウォール事業

当セグメントの売上高は66億30百万円(前連結会計年度比4.8%減)、セグメント利益は3億16百万円(前連結会計年度比105.0%増)となりました。なお、売上のトレンドに季節性はありません。

#### ②アクア事業

当セグメントの売上高は6億39百万円(前連結会計年度比27.8%増)、セグメント利益は40百万円(前連結会計年度比146.2%増)となりました。

#### ③その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と不動産賃貸事業であります。

当セグメントの売上高は62百万円(前連結会計年度比5.4%減)、セグメント損失は0百万円(前連結会計年度は0百万円のセグメント損失)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ①資産の状況

当連結会計年度末における資産合計は127億9百万円と前連結会計年度末と比較して3.1%、3億85百万円の増加となりました。これは主に、現金預金が11億74百万円増加したことと、電子記録債権が7億35百万円減少したことによるものであります。

#### ②負債の状況

当連結会計年度末における負債合計は20億8百万円と前連結会計年度末と比較して21.5%、3億55百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が1億19百万円、未払法人税等が81百万円及び長期借入金が42百万円増加したことによるものであります。

#### ③純資産の状況

当連結会計年度末における純資産合計は107億1百万円と前連結会計年度末と比較して0.3%、29百万円の増加となりました。これは主に、自己株式が1億19百万円増加したことと、利益剰余金が、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により3億2百万円増加したことと、配当金の支払いにより1億69百万円減少したことにより1億32百万円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税金等調整前当期純利益4億47百万円、減価償却費3億32百万円、売上債権の減少額8億36百万円により15億円18百万円の資金増加（前連結会計年度は8億73百万円の資金減少）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出2億75百万円により2億85百万円の資金減少（前連結会計年度は3億73百万円の資金減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に長期借入による収入2億40百万円、長期借入金の返済による支出2億17百万円、配当金の支払額1億69百万円により58百万円の資金減少（前連結会計年度は3億96百万円の資金減少）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の期末残高は26億45百万円（前連結会計年度比79.9%増）となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期	2023年12月期
自己資本比率(%)	61.7	75.9	77.0	86.6	84.2
時価ベースの自己資本比率(%)	46.8	37.6	40.4	33.0	32.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.5	—	0.3	—	0.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	328.1	—	510.9	—	441.1

(注) 1. 各指標の算出は以下の算式を使用しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

3. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

4. 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

5. 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

## (4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、売上高は93億円（前連結会計年度比26.8%増）、営業利益5億50百万円（前連結会計年度比54.6%増）、経常利益6億10百万円（前連結会計年度比35.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益4億円（前連結会計年度比32.5%増）を見込んでおります。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の配当の基本方針といたしましては、将来の成長を展望した企業体質の強化、並びに積極的な事業展開に必要な内部留保の確保に配慮しつつ、安定的な配当額を加味しながら、株主の皆様への利益還元を心がけております。

具体的には、年間20円配当を安定的に行うことを基本とし、最近の業績動向等を勘案して、それ以上の配当額を目指すことを基本方針としています。

また内部留保につきましては、当社企業グループの競争力の維持・強化による収益力向上を図るための設備投資・開発研究等有効に活用する方針であります。

当期の期末配当につきましては、1株当たり期末配当金を従来予想通り10円となる予定です。これにより実施済みの中間配当金10円と合わせた年間配当金は1株当たり20円となる予定です。

次期の配当につきましては、2024年度は、売上・利益が確保できる見込みなので年間配当金は1株当たり20円を考えております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社企業グループは、現在海外での活動がほとんどないことから、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,470,755	2,645,746
受取手形・完成工事未収入金等	3,685,743	3,584,308
電子記録債権	1,332,212	596,929
未成工事支出金	250,470	384,183
その他の棚卸資産	109,536	108,472
その他	99,757	64,082
貸倒引当金	△2,125	△625
流動資産合計	6,946,352	7,383,097
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	3,718,360	3,724,304
減価償却累計額	△3,130,793	△3,181,470
建物・構築物(純額)	587,566	542,834
機械・運搬具及び工具器具備品	2,916,544	3,153,677
減価償却累計額	△2,164,368	△2,404,940
機械・運搬具及び工具器具備品(純額)	752,175	748,737
土地	1,757,455	1,757,455
建設仮勘定	48,727	-
有形固定資産合計	3,145,926	3,049,027
無形固定資産	90,814	82,696
投資その他の資産		
投資有価証券	184,455	208,827
保険積立金	1,126,072	1,111,663
投資不動産(純額)	35,725	35,481
差入保証金	621,336	623,764
退職給付に係る資産	115,827	156,258
その他	63,524	64,726
貸倒引当金	△5,277	△5,617
投資その他の資産合計	2,141,664	2,195,103
固定資産合計	5,378,406	5,326,827
資産合計	12,324,758	12,709,925

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当連結会計年度 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	425,356	463,399
電子記録債務	249,894	200,757
短期借入金	344,000	535,000
未払法人税等	4,098	85,545
未成工事受入金	12,166	31,165
完成工事補償引当金	1,330	1,060
賞与引当金	50,222	50,094
工事損失引当金	21,505	47,482
その他	214,313	210,618
流動負債合計	1,322,886	1,625,122
固定負債		
長期借入金	102,000	144,000
役員退職慰労引当金	138,123	152,612
その他	89,977	86,976
固定負債合計	330,100	383,589
負債合計	1,652,987	2,008,711
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	7,629,277	7,762,232
自己株式	△351,113	△470,564
株主資本合計	10,661,527	10,675,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,243	26,182
その他の包括利益累計額合計	10,243	26,182
純資産合計	10,671,771	10,701,213
負債純資産合計	12,324,758	12,709,925



## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
売上高		
完成工事高	7,530,716	7,332,531
売上原価		
完成工事原価	6,497,787	6,078,558
売上総利益		
完成工事総利益	1,032,928	1,253,972
販売費及び一般管理費	862,732	898,179
営業利益	170,195	355,793
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,030	2,747
投資不動産賃貸料	2,488	3,828
受取家賃	10,317	10,481
鉄屑売却収入	51,290	60,253
貸倒引当金戻入額	1,810	1,160
その他	16,434	21,976
営業外収益合計	84,371	100,447
営業外費用		
支払利息	2,594	3,410
不動産賃貸費用	884	1,349
リース解約損	692	-
その他	2,027	2,610
営業外費用合計	6,198	7,370
経常利益	248,368	448,869
特別損失		
固定資産除却損	6,917	1,539
減損損失	15,500	-
特別損失合計	22,417	1,539
税金等調整前当期純利益	225,951	447,330
法人税、住民税及び事業税	8,152	109,591
過年度法人税等	-	44,871
法人税等調整額	66,154	△9,133
法人税等合計	74,306	145,329
当期純利益	151,644	302,000
親会社株主に帰属する当期純利益	151,644	302,000

## 連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
当期純利益	151,644	302,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,589	15,939
その他の包括利益合計	△1,589	15,939
包括利益	150,055	317,939
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	150,055	317,939

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年 1月 1日 至 2022年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	100,000	3,283,363	7,649,135	△323,601	10,708,897	11,832	11,832	10,720,730
当期変動額								
剰余金の配当			△171,502		△171,502			△171,502
親会社株主に帰属する当期純利益			151,644		151,644			151,644
自己株式の取得				△27,511	△27,511			△27,511
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-	△1,589	△1,589	△1,589
当期変動額合計	-	-	△19,858	△27,511	△47,369	△1,589	△1,589	△48,959
当期末残高	100,000	3,283,363	7,629,277	△351,113	10,661,527	10,243	10,243	10,671,771

当連結会計年度(自 2023年 1月 1日 至 2023年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	100,000	3,283,363	7,629,277	△351,113	10,661,527	10,243	10,243	10,671,771
当期変動額								
剰余金の配当			△169,045		△169,045			△169,045
親会社株主に帰属する当期純利益			302,000		302,000			302,000
自己株式の取得				△119,451	△119,451			△119,451
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-	15,939	15,939	15,939
当期変動額合計	-	-	132,954	△119,451	13,503	15,939	15,939	29,442
当期末残高	100,000	3,283,363	7,762,232	△470,564	10,675,030	26,182	26,182	10,701,213

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	225,951	447,330
減価償却費	287,334	332,762
減損損失	15,500	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,810	△1,160
固定資産除却損	3,118	1,539
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△75,883	14,489
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△550	△270
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	7,459	25,977
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△760	△128
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	19,144	△40,431
受取利息及び受取配当金	△2,030	△2,747
支払利息	2,594	3,410
売上債権の増減額 (△は増加)	61,169	836,718
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△25,494	△133,712
その他の棚卸資産の増減額 (△は増加)	△29,565	1,063
保険積立金の増減額 (△は増加)	△21,584	14,409
その他の資産の増減額 (△は増加)	△37,345	33,626
仕入債務の増減額 (△は減少)	△20,143	△11,094
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△6,651	18,999
その他の負債の増減額 (△は減少)	△549,283	51,587
小計	△148,829	1,592,371
利息及び配当金の受取額	2,044	2,760
利息の支払額	△2,579	△3,442
法人税等の支払額	△723,951	△73,015
営業活動によるキャッシュ・フロー	△873,316	1,518,674
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△322,515	△275,380
無形固定資産の取得による支出	△53,928	△8,551
貸付けによる支出	△2,000	△5,600
貸付金の回収による収入	4,450	4,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	△373,994	△285,481
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	210,000
長期借入れによる収入	-	240,000
長期借入金の返済による支出	△195,000	△217,000
建設協力金の返済による支出	△2,520	△2,520
自己株式の取得による支出	△27,511	△119,451
配当金の支払額	△171,646	△169,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△396,678	△58,202
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,643,988	1,174,990
現金及び現金同等物の期首残高	3,114,744	1,470,755
現金及び現金同等物の期末残高	1,470,755	2,645,746

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1 報告セグメントの概要

当社企業グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社企業グループは、顧客に提供する製品・サービスの特性をベースとして構成した、「PCカーテンウォール事業」、「アクア事業」の2つを報告セグメントとしております。

「PCカーテンウォール事業」は、主としてオフィスビルの外壁の設計・製造・施工を行っております。

「アクア事業」は、ホテル・学校・スポーツ施設のプールならびに各種温浴施設などの水施設・水空間・水環境の企画・提案・設計・施工を行っております。

## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。また、報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	PCカーテンウ ォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	6,964,026	500,373	7,464,400	66,316	7,530,716	—	7,530,716
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,964,026	500,373	7,464,400	66,316	7,530,716	—	7,530,716
セグメント利 益又はセグメ ント損失(△)	154,231	16,393	170,625	△429	170,195	—	170,195
セグメント資 産	9,060,551	199,709	9,260,261	88,511	9,348,772	2,975,985	12,324,758
その他の項目							
減価償却費	283,656	—	283,656	3,415	287,072	261	287,334
減損損失	—	—	—	15,500	15,500	—	15,500
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	358,431	—	358,431	—	358,431	—	358,431

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と不動産賃貸事業であります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額2,975,985千円は、セグメント間債権債務消去△11,010千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産2,989,518千円が含まれており、その主なものは提出会社での余資運用資金等であります。

(2) 減価償却費の調整額261千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	PCカーテンウ ォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	6,630,445	639,381	7,269,826	62,705	7,332,531	—	7,332,531
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,630,445	639,381	7,269,826	62,705	7,332,531	—	7,332,531
セグメント利 益又はセグメ ント損失(△)	316,165	40,360	356,525	△732	355,793	—	355,793
セグメント資 産	8,316,292	124,260	8,440,553	85,521	8,526,074	4,183,850	12,709,925
その他の項目							
減価償却費	332,299	—	332,299	219	332,518	243	332,762
減損損失	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	228,821	—	228,821	—	228,821	—	228,821

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と不動産賃貸事業であります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント資産の調整額4,183,850千円は、セグメント間債権債務消去△11,050千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産4,196,711千円が含まれており、その主なものは提出会社での余資運用資金等であります。

(2) 減価償却費の調整額243千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## (1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
1株当たり純資産額	1,252円55銭	1,293円18銭
1株当たり当期純利益	17円70銭	35円96銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	151,644	302,000
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	151,644	302,000
普通株式の期中平均株式数(株)	8,568,079	8,398,108

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2022年12月31日)	当連結会計年度末 (2023年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	10,671,771	10,701,213
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	10,671,771	10,701,213
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数(株)	8,520,047	8,275,147